

# 平成 20 年度 坂出市教育委員会点検・評価報告書

坂出市教育委員会

## ・目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 27 条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行うものであり、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものです。

## ・点検・評価の方法

平成 20 年度教育方針に基づき、平成 20 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検・評価を実施いたしました。この点検・評価に際しては、学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「坂出市教育評価委員会」を開催し、ご意見や助言をいただきました。

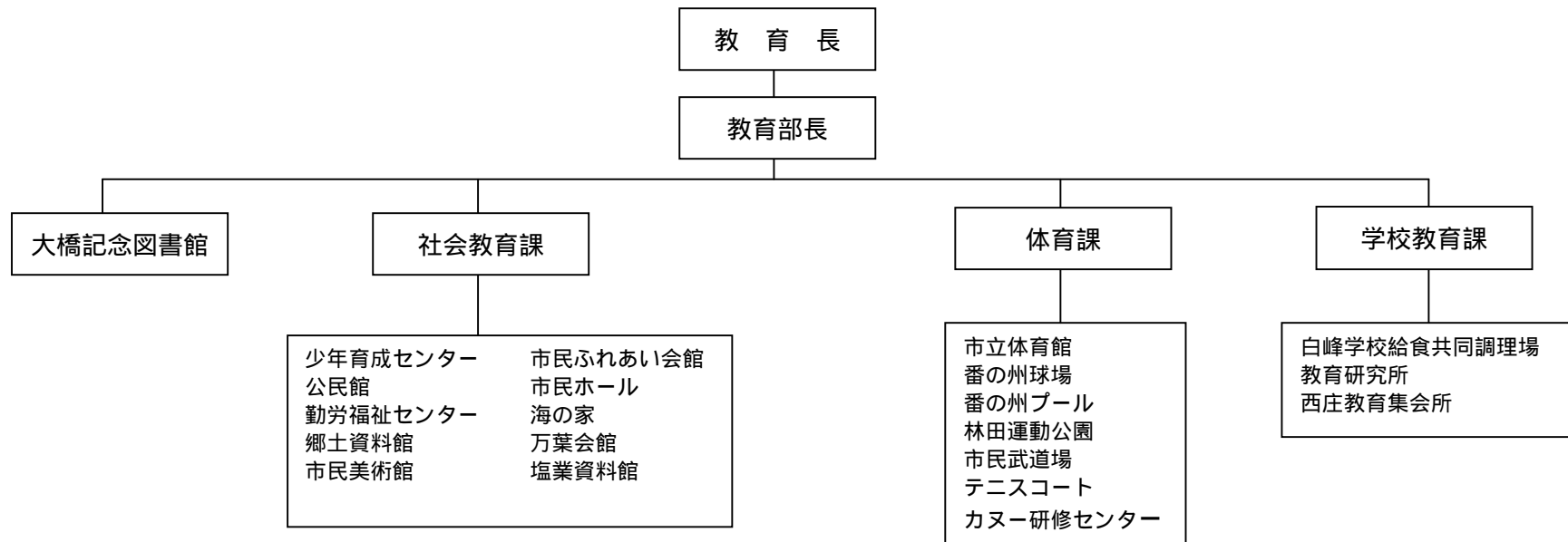
## ・教育委員会活動の概要

教育委員会制度の本来の意義、役割を果たすための運営改善と活性化が望まれる中、坂出市教育委員会では主体的で市民に信頼され開かれた教育委員会を目指し、平成 20 年度において以下の活動を行いました。

### 1．委員構成

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 3 条の規定により教育委員に保護者が含まれるようにすることが義務付けされ、平成 20 年 9 月 29 日に坂出市教育委員会委員の定数に関する条例を改正し、委員定数を 5 名から 6 名としました。

### 2．教育委員会事務局の組織



### 3. 教育委員会議の開催状況

教育委員会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、平成20年度は合計16回開催いたしました。

教育委員会定例会 12回開催 議案61件 報告71件

教育委員会臨時会 4回開催 議案3件 報告1件

### 4. 教育委員会のその他の活動

#### 学校訪問

市立幼稚園9園，小学校14校，中学校6校を対象として2年間で全て訪問することとしており，平成20年度は4幼稚園，7小学校，4中学校を3日間で訪問しました。

#### 香川県市町教育委員会連絡協議会委員研修会

日時 10月16日

研修内容 ・児童生徒の学力向上に向けた教育委員会の取組についての提案発表

「全国学力学習状況調査を活用した学校改善について」 観音寺市教育委員会

・講演「これからの学校運営を考える」文部科学省生涯学習政策局

#### 市長との懇談会

日時 1月7日

懇談内容 教育課題等についての意見交換

#### 八市教育委員会連絡協議会

日時 1月20日

出席者 8市より教育委員39名 事務局職員11名

協議課題 ・学習指導要領の改訂に伴う移行措置への対応について

・成人式の実施方法について

・各市の教員1人1台の校務用パソコンの整備状況や今後の見通しについて

・八市教育委員会連絡協議会について

施設見学 ・香川県立東山魁夷せとうち美術館

・瀬戸大橋記念館

#### 視察研修

日時 2月9・10日

研修事項 亀岡市

1. 教育委員会点検評価について

## 2.小中学校におけるALTの活用状況について

### 八幡市

- 1.学校再編整備について
- 2.学校支援ボランティアについて

### その他教育委員が関わる活動

- 4月 年度当初校園長会議
- 5月～6月 幼・小中学校春季運動会
- 9月 幼・小中学校秋季運動会
- 10月 幼・小中学校秋季運動会，水のフェスティバル in 府中湖，戦没者追悼式，教育功労者表彰
- 11月 まなとピアフェスティバル
- 1月 成人式，瀬戸大橋駅伝競走大会
- 3月 幼稚園卒園式，小中学校卒業式

## ・点検・評価の結果

次ページ以降に，項目ごとの各課の取組状況についての点検・評価調書を掲載しています。

### 点検・評価の自己評価基準について

区分	評価内容
A	新たな施策を立ち上げ，良好な成果をあげることができた。 計画以上の成果が得られた。
B	概ね計画の目標は達成できた。
C	課題を残し，目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く，具体的成果がなかった。

## 平成 20 年度教育委員会点検・評価調書

### 1. 生涯学習の充実及び社会教育の推進

市民が生涯を通じて「生きがい」や「心の豊かさ」を求めて学習活動が続けられるよう、生涯学習推進体制の整備に努め、学習活動を促進するとともに地域での学習活動の振興を図る。また、生涯各時期の課題に対応した学習機会の充実に努めるとともに、学習情報の提供、学習団体・グループの育成や指導者の養成・確保に努め、個性豊かな文化のまちづくりを推進する。

目 標	．生涯学習の推進組織の充実	担 当 課	社会教育課
施 策	社会環境の変化や多様化・高度化する学習ニーズを反映した生涯学習プランの作成 学習情報のデータベース化など、情報システム整備による学習情報の提供と相談体制の充実 家庭、地域、公民館、学校等との連携を図り、効果的で充実した学習機会の提供に努める	総合自己評価	B
自己評価概要	市民が主体的な学習活動ができるよう生涯学習のまちづくり推進本部研究会や推進本部会、協議会の体制を整備し、市民参加型の生涯学習のまちづくりに努めるとともに公民館を拠点とした学習活動を展開した。 市民講座では漢字書道をはじめとする 8 講座を前期・後期合わせて 20 回、延べ 160 講座を開催した。また、府中公民館、松山公民館においてもそれぞれ定期講座を 10 回、延べ 20 講座を開催し、学習機会の提供に努めた。一方、勤労福祉センター、市民美術館、郷土資料館、塩業資料館、市民ホールなどにおいても施設間が連携し、市民参加型の生涯学習のまちを目指した学習講座の開設に取り組んだ。なお、各種講座についてはホームページや市広報誌を活用するとともに、まなとピアフェスティバルの案内用ちらしを全戸配布するなど学習情報の提供に努めた。	教育評価委員会 評価	B

目 標	．グループの育成とリーダーの養成	担 当 課	社会教育課
施 策	生涯学習グループの育成 自主的学習活動を促進するため、ボランティア活動団体の登録・紹介システムの整備 地域に潜在する優れた人材の発掘と指導者・リーダーの養成	総合自己評価	B
自己評価概要	定期講座終了後に自主グループを結成して継続的な学習活動が展開できるよう活動計画を策定するとともに、市ホームページや市広報誌、ちらし等を活用して募集活動を行うなど活性化を図り、生涯学習グループの育成に努めた。 定期講座においては女性を対象とした講座など約 290 講座を開催し、自主的学習活動の促進に努めた。また、本市の生涯学習の祭典として定着している「まなとピアフェスティバル」については、グループ組織の充実、指導者・リーダーの養成、リーダー候補者の発見の場ともなっており、平成 20 年度は 220 グループの参加があった。	教育評価委員会 評価	B

目 標	．社会教育施設の整備	担 当 課	社会教育課・図書館
施 策 (社会教育課分)	公民館・図書館等生涯学習施設の整備・充実 施設相互の連携強化、既存施設の有効活用	総合自己評価	B

自己評価概要	施設の整備については、部分補修により対応している。今後坂出市公共施設耐震化計画に基づき耐震診断を実施し、安全な施設の整備を行う予定である。 また、施設相互の連携強化、既存施設の有効活用については、各施設での企画事業やまなとピアフェスティバルの開催、文化芸術活動等の拠点として情報発信しており、豊かな心と文化のまちづくりを目指して一層の連携と一体的な施設の有効活用が求められる。	教育評価委員会 評価	B
施策 (図書館分)	公民館・図書館等の生涯学習施設の整備・充実	総合自己評価	B
自己評価概要	よりよい読書環境の充実を図るため、照明器具の増設やインターネットパソコンの更新を行った。施設の整備については、部分補修により対応している。今後坂出市公共施設耐震化計画に基づき耐震診断を実施し、安全な施設の整備を行う予定である。	教育評価委員会 評価	B

目 標	・ 図書館活動の充実	担 当 課	図書館
施 策	情報提供機能の充実 次代を担う子どもたちを重視した図書館事業の展開 全ての子どもが、いつでも、どこでも本と接することのできる環境整備 子どもの成長にかかわるさまざまな人や組織が連携した読書活動の推進	総合自己評価	A
自己評価概要	市民サービスのより一層の向上を図るため、祝日開館を開始するなど開館日数や行事の開催を増やし、読書活動の環境整備を図ったことで、個人貸出冊数は5年間で37%増えた。「坂出市子ども読書活動推進計画」に基づき学校や読書支援ボランティアと連携し、子どもへの読書機会の提供、保護者等への啓発活動を行っている。	教育評価委員会 評価	A

目 標	・ 健全な青少年の育成	担 当 課	社会教育課
施 策	家庭、地域、学校、関係機関が互いの役割と責任を認識し、青少年の健全育成に取り組む 青少年育成組織の充実と青少年団体の指導者・リーダーの養成 ボランティア活動、国際交流活動、世代間交流活動、環境美化活動等への参加促進	総合自己評価	B
自己評価概要	家庭教育学級や思春期セミナーの開講、わくわく！さかいでっこ探検隊やニュースポーツ講座など9つの家庭教育支援事業を展開し、延べ2,063名の参加者とともに青少年の健全育成活動に取り組んだ。 地域育成活動事業やまんでがんキャンプなどを実施し、青年団体、子ども会の育成に努めるとともに、補導活動、相談活動を展開することで青少年の健全育成及び青年団体の指導者、リーダーの養成に努めた。さらに地域教育力の向上を図るため学校支援ボランティア推進事業や地域交流パソコン教室などを実施し、ボランティア活動などの促進を図り、社会教育の推進に努めた。	教育評価委員会 評価	B

## 2. 学校教育の充実

平成 20 年度は二学期制が 3 年目を迎え、幼稚園、小中学校において教育課程や行事等の見直しと改善が図られてきた。また、幼稚園と小中学校における「学校評価」の導入も支障なく、前期と後期で実施することができ、それぞれの園や学校の活性化と改善につながっている。こうしたことから、二学期制を取り入れた園経営や学校経営は安定してきており、子どもや保護者らにとっても二学期制が定着しつつあるととらえている。

また、新たに学校運営面での第三者評価としての「学校経営支援委員会」の実働と「学校再編整備」、人的支援体制の充実としての市単独の「学校への教育支援員の配置」等に取り組んだ。

目 標	. 幼児教育の充実	担 当 課	学校教育課
施 策	幼児期にふさわしい生活を展開するための保育内容や方法の工夫・改善	総合自己評価	A
自己評価概要	幼稚園教育要領の改訂に伴って、講師を招へいして全体研修会を開催し、各園で具体的に教育課程の検証を行い、平成 21 年度からの実施に向けての準備態勢を整えた。学校(園)評価でも園経営の改善につながるような評価書を作成し、各園が前期、後期の点検・評価をしたことは信頼される園経営につなげていけると考えている。また、充実した園経営を目指して、各園では園の実態に応じてフリー参観日の設定や家庭通信の工夫等に積極的に取り組んでいる。	教育評価委員会 評価	A

目 標	. 小中学校教育の充実	担 当 課	学校教育課
施 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力の向上</li> <li>道徳教育の充実</li> <li>いじめ・不登校等対策事業の推進</li> <li>体育・健康教育の充実</li> <li>環境教育の推進</li> <li>豊かな体験活動の推進</li> </ul>	総合自己評価	B
自己評価概要	<p>市内の児童生徒の学力、体力とも、県平均には達していないものの、ほとんどの観点で全国平均を上回り、対前年比でも向上が見られる。こうした背景には、確かな学力をつけるための工夫や少人数指導や個に応じた指導が充実してきていると考えている。</p> <p>学校教育課題「目標申告を活用した教員の資質能力の向上」の研究において、教育現場の調査から教員の目標申告の課題が明確になったことは、学校評価の充実に連動するものであり、大きな成果であった。</p> <p>各小中学校において、目標申告、学校関係者評価委員会の実施及び公表・報告については完全実施ができた。さらに、小中学校とも「学校評価書」の作成ができ、前期と後期に第三者「学校経営支援委員会」評価ができたことは、学校経営の活性化につなげる基盤づくりができつつあるととらえている。</p> <p>いじめについては小中学校合わせて 25 件発生し、また暴力事件で中学生 1 名が逮捕された事案が発生したが、学校の早期対応、学校と教育委員会の連携、関係機関との適切な連携により、事案解消に向けて着実に取り組んだ。不登校については「ふれあいの部屋」や「であいの部屋」の役割が保護者との連携をよくし、着実に成果を上げている。</p>	教育評価委員会 評価	B

目 標	・ 指導力の向上と指導体制の充実	担 当 課	学校教育課
施 策	指導力の向上と指導体制の充実 計画的な人的配置 特別支援教育の充実	総合自己評価	A
自己評価概要	指導力の向上と指導体制の充実，特別支援教育の充実，外国語活動の時間の実施には人的配置とその運用が問われてくる。小中学校では少人数指導として習熟度学習やTT(チームティーチング)学習の形態を取り入れ，成果を上げている。また，中学校(白峰中学校)では少人数学級編成が認められ，学校運営を円滑化することができた。こうした取組が県の少人数指導加配のヒヤリングにおいて評価され，配置加配校数(中学校3校，小学校9校)を維持した。 特別支援教育の充実については，平成20年度は3名の特別支援教育支援員を3校に配置し，支援体制を強化した。	教育評価委員会 評価	A

目 標	・ 地域との連携強化	担 当 課	学校教育課
施 策	家庭の教育力の向上 地域に開かれた信頼される学校・園づくり	総合自己評価	A
自己評価概要	家庭の教育力の向上は，地域の実態分析から時間をかけて取り組む重要な課題ととらえている。これについては即席的，数値的な成果を期待する方策だけでは危険であり，学校と家庭とが納得する形で推進されなければならないと考えている。本年度は家庭の教育力の向上として，各学校が調査等によって実態を明確にして，それぞれの実情に合わせた方策を具体化させている。各園，学校においてアンケート調査等を通して，家庭や地域との連携を図る取組が着実になされている。具体的には，ホームページの開設，メール配信，学校だよりの送付等，学校や園の実情に応じた具体化等がある。こうした動向が教育現場で取り組まれていることは信頼される学校・園づくりにつながっていると考えている。	教育評価委員会 評価	A

目 標	・ 学校の教育施設・設備の充実と適正規模の確保	担 当 課	学校教育課
施 策	学校施設整備・耐震化の計画的推進 教育用教材・備品の整備，情報化の推進 学校再編の推進	総合自己評価	B



<p>自己評価概要</p>	<p>学校施設に関しては、学校施設の耐震化について、平成 21 年度以降で実施を予定していた学校施設の耐震診断を平成 20 年度中に実施し、今後の耐震化工事の計画的推進において、大きく前進することができた。その他、緊急度を考慮し、施設の修繕・整備、教材・備品等の整備を行ったが、まだ十分とは言えない。</p> <p>平成 19 年度より検討委員会を設置して取り組んできた学校再編整備については、平成 20 年 4 月に今後の学校施設の在り方や小中学校の区域及び適正規模等についての答申を得て、同年 12 月に坂出市学校再編整備実施計画を策定した。また、再編整備についての地元説明会を開催する中、実施計画の前期に位置付けられた西部小学校、中央小学校、沙弥小学校の統廃合について地元の理解が得られ、平成 22 年度に統合、平成 24 年度までに新校舎を完成させるという具体的な道筋をつけることができた。</p>	<p>教育評価委員会 評価</p>	<p>B</p>
---------------	---	-----------------------	----------

### 3. 人権・同和教育の推進

「坂出市人権教育・啓発に関する基本指針」に基づき、差別のない社会を目指して、一人ひとりが人権尊重の精神に立ち、教育の中立性を確保しながら心理的差別の解消に向けた人権・同和教育を推進する。

<p>目 標</p>	<p>・ 学校教育における人権・同和教育の推進</p>	<p>担 当 課</p>	<p>学校教育課</p>
<p>施 策</p>	<p>人間尊重の精神に徹した人権・同和教育の推進 学習、指導資料の作成 学習発表と市民への啓発</p>	<p>総合自己評価</p>	<p>B</p>
<p>自己評価概要</p>	<p>坂出市の教育理念である「恕」の心を人権・同和教育の基本（根本）理念として位置づけ、こうした理念に立ち、坂出市独自の冊子「心」の見直しと部分改訂ができた。即ち、自他相即の関係において人と人、人と自然を捉え、生命教育に包含される人権・同和教育としての取組を始めた。このことは「人権教育の指導方法等の在り方について～第三次まとめ」の本質的な趣旨をとらえた動向として意義を見出せるものと考えている。本年度は、これまでの人権・同和教育の在り方を見直し、本市独自の実践に向けての方向性を構築した。</p>	<p>教育評価委員会 評価</p>	<p>B</p>

<p>目 標</p>	<p>・ 社会教育における人権・同和教育の推進</p>	<p>担 当 課</p>	<p>社会教育課</p>
<p>施 策</p>	<p>日常生活において人権尊重の行動や態度が無意識に表れるような人権感覚を養う啓発活動や教育活動の推進 多様な学習機会の充実や参加体験の学習プログラムの研究開発、普及を図る</p>	<p>総合自己評価</p>	<p>B</p>

<p><b>自己評価概要</b></p>	<p>幼児期から豊かな情操や思いやり，生命を大切に作る心や善悪の判断など人間形成の基礎を育む上で，家庭教育は教育の出発点であり重要な役割を果たしており，その充実を図る必要がある。特に，親自身が偏見を持たず差別をしないことなど日常生活を通じて自らの姿をもって子どもに示していくことが重要である。</p> <p>平成 20 年度は，第 56 回日本 PTA 全国研究大会かがわ讃岐路大会が県下で開催されたことから，800 名の参加者が人権教育研究に取り組んだ。また，家庭・地域における人権教育等をテーマとした人権学習講座を開催することで学習機会の充実に努めており，4 回の開催で 231 名の参加者があった。その他，家庭教育に関する親の学習機会の創出や情報の提供を図るとともに子育てに不安や悩みを抱える保護者に対する相談体制も整えている。</p>	<p><b>教育評価委員会 評価</b></p>	<p><b>B</b></p>
----------------------	---	------------------------------	-----------------

#### 4. 文化・スポーツの振興

市民一人ひとりが心豊かで潤いのある生活を実現するため，芸術・文化活動等の振興に努める。また，豊かな心を育む芸術文化活動を推進するため市民の意識の高揚を促すとともに，発表の場や鑑賞機会の提供に努め芸術文化の振興を図る。

目 標	. 芸術・文化活動の振興	担 当 課	社会教育課
<p><b>施 策</b></p>	<p>市民美術館を中心とした企画事業の充実 文化祭・音楽祭・講演などイベントの開催 各種芸術・文化グループ活動の支援 専門的で優れた指導者の養成・確保</p>	<p><b>総合自己評価</b></p>	<p><b>B</b></p>
<p><b>自己評価概要</b></p>	<p>さかいで Art グランプリ 2008 などの 6 企画事業や万葉 3 企画事業を実施して芸術文化への意識を高めるとともに，発表の場や鑑賞機会の提供に努めた。市民美術館の 6 企画事業への参加者は 6,447 名であった。万葉 3 企画事業については万葉歩く会，坂出短歌会，煎茶グループあけぼののボランティア 3 団体が中心となって春季に実施しているものであり，参加者は 333 名であった。今後，秋季における新たな振興策の検討や新たなボランティア協力団体の発掘に努める必要があると考えている。</p> <p>生涯学習の祭典 2008 まなとピアフェスティバルを開催し，文化芸術活動の振興に努めるとともに，坂出市文化協会への活動助成を行い，芸術文化団体の育成に努めた。さらに坂出市民大学講座の開設に助成を行い，人材の育成に努めるとともに豊かな心と文化のまちづくりを推進している。</p>	<p><b>教育評価委員会 評価</b></p>	<p><b>B</b></p>

目 標	. 文化財を生かしたまちづくり	担 当 課	社会教育課
<p><b>施 策</b></p>	<p>史跡や郷土芸能など文化遺産の保存伝承 生活文化を中心とした分野での記録や保存に努める 新たな文化の創造を促進</p>	<p><b>総合自己評価</b></p>	<p><b>B</b></p>

<p>自己評価概要</p>	<p>文化財保護に関する事業では、国宝の神谷神社，国・県指定文化財を所有する白峯寺，県指定民俗文化財の檀石ももて祭保存会，府中町史跡保存会に助成を行った。また，加茂地区埋蔵文化財発掘調査事業の測量調査や与島長崎鼻遺跡周辺における試掘調査を実施し史跡保存に関する調査も行っている。今後，文化財用地の除草等の清掃については，地元自治会やボランティアの協力を得ながら取り組む必要がある。また，新たな指定文化財の保護にも取り組む必要がある。</p> <p>郷土に伝わるふるさとの歴史や芸能等を保存伝承する事業としては，市内における菅原道真の伝承地等をDVDディスク等に収め，その貸出しを行った。また，郷土資料館においては県埋蔵文化財センターの協力により企画展を行った。今後常設展示の入れ替え企画事業等も検討し，特色のある地域づくりを推進する必要があると考えている。</p>	<p>教育評価委員会 評価</p>	<p>B</p>
---------------	--	-----------------------	----------

目 標	.スポーツの振興	担 当 課	体育課
<p>施 策</p>	<p>各種スポーツ行事等を開催し，各年齢層に応じた生涯スポーツの普及・振興を図る            体育指導委員の資質向上に努める            市体育協会加盟団体及び各種スポーツ団体の支援に努める            競技力の向上のため，全国レベルの大会の開催を支援する            既存スポーツ施設や小学校体育施設の有効活用を図るとともに，運営・維持管理について十分配慮し，スポーツ活動の環境づくりに努める</p>	<p>総合自己評価</p>	<p>B</p>
<p>自己評価概要</p>	<p>健康で心豊かな市民生活を確保する上でスポーツ・レクリエーションの推進は，重要な役割を果たすものである。また，近年における余暇時間の増大，出生率の低下とあいまって，急速な長寿化社会への進展によりその健康の保持・増進を願って市民のスポーツに対する関心と意識は益々高まっているところである。いつでも，どこでも，市民のだけれどもが，いつまでもスポーツに親しめるよう生涯スポーツの普及・振興を図ることに努めた。</p> <p>今後，総合型地域スポーツクラブの創設に取り組む必要がある。</p>	<p>教育評価委員会 評価</p>	<p>B</p>

# 各事業の自己評価と教育評価委員会評価の概要一覧

## 1. 生涯学習の充実及び社会教育の推進

### 生涯学習の推進組織の充実

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
社会教育課		生涯学習のまちづくり推進事業	B		B
		生涯学習のまちづくり推進事業	B		B
		生涯学習推進事業	B		B

### グループの育成とリーダーの養成

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
社会教育課		自主グループ育成事業	B		B
		広報募集活動	B		B
		定期講座及び養成講座・事業	B		B

### 社会教育等施設の整備(社会教育課分)

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
社会教育課		社会教育関係施設耐震化事業	-		-
		社会教育関係施設の連携強化	B		B

### 社会教育等施設の整備(図書館分)

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
図書館		子ども読書活動推進事業	B		B
		インターネット導入事業	B		B
		耐震診断	-		-

### 図書館活動の充実

総合自己評価 A

教育評価委員会評価 A

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
図書館		情報提供推進事業(ア)	A	紛失本対策について予算措置を考えるべきである。	A
		情報提供推進事業(イ)	A	他の公共図書館との相互貸借制度の積極的PRが必要である。	A
		ブックスタート事業	A		A
		子ども読書活動推進事業	A		A

		学校図書館支援センター事業	B		B
		学校連携事業	A		A
		読書活動啓発事業	A		A

・健全な青少年の育成

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
社会教育課		成人教育補助事業	B		B
		家庭教育学級	B	参加者からの感想等を収集し、事業効果を確認する取組みが必要である。	B
		思春期セミナー	B		B
		わくわく！さかいでっこ探検隊	A		A
		ニューススポーツ講座	B		B
		坂出市成人式	A		A
		放課後児童健全育成事業	B		B
		補導活動事業	B		B
		相談活動事業	B		B
		まんでがんキャンプ	B		B
		まんでがんレクリエーション	B		B
		青年団体育成	B		B
		子ども会育成	B		B
		地域育成活動事業	B		B
		学校支援ボランティア推進事業	B		B
	地域交流パソコン教室	B		B	

2. 学校教育の充実

・幼児教育の充実

総合自己評価 A

教育評価委員会評価 A

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
学校教育課		研究・研修事業(ア)	A		A
		研究・研修事業(イ)	B		B
		研究・研修事業(ウ)	A		A
		研究・研修事業(エ)	A		A
		指定研究事業	A		A
		ふれあい茶道教室	A		A

・小中学校教育の充実

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
学校教育課		全国学力・学習状況調査の分析と活用	B		B
		指定研究事業	A		A
		指定研究事業	B		B
		いじめ・不登校対策事業	B		B
		全国体力・運動能力運動習慣等調査分析	B		B
		学校給食推進事業(ア)	B		B
		学校給食推進事業(イ)	A		A
		食育教育推進事業	B		B
		環境学習の実践	A		A
		水資源教育推進事業	B		B
		豊かな体験活動の推進	A		A
		職場体験学習	B		B

【教育評価委員会の意見】来年度に向けての改善点として、小中学校を分けて整理すべきであり、また施策が多いことから目標をさらに細分化する必要がある。

・指導力の向上と指導体制の充実

総合自己評価 A

教育評価委員会評価 A

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
学校教育課		研究・研修事業	A		A
		人的配置と運用	A		A
		人的配置と運用(特別支援教育)	A		A

・地域との連携強化

総合自己評価 A

教育評価委員会評価 A

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
学校教育課		地域ボランティアの活用	A		A
		保育・授業参観の充実	A		A
		広報活動	B		B

【教育評価委員会の意見】来年度に向けての改善点として、地域との連携強化の中に家庭の教育力の向上を入れるのは難しく、別枠で考えることも必要である。また、教育委員会活動の情報開示が少なく、ホームページの充実が不可欠である。

・学校の教育施設・設備の充実と適正規模の確保

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
学校教育課		学校施設整備事業(ア)	C		C
		学校施設整備事業(イ)	B		B

	学校施設耐震化事業(ア)	C	複数年で見れば小中学校の屋内運動場の耐震化工事は完了しており、また予算枠の中で計画通り耐震化工事を実施していることから、B評価が妥当である。	B
	学校施設耐震化事業(イ)	A		A
	教材・備品整備(ア)	A		A
	教材・備品整備(イ)	B		B
	教材・備品整備(ウ)	C	学校図書充実が必要であり、図書館との連携も考慮すべきである。	C
	教材・備品整備(エ)	B		B
	情報化の推進(ア)	B		B
	情報化の推進(イ)	C		C
	情報化の推進(ウ)	B		B
	学校再編整備	B		B

### 3. 人権・同和教育の推進

#### ・学校教育における人権・同和教育の推進

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
学校教育課		研究・研修事業(ア)	B		B
		研究・研修事業(イ)	B		B
		研究・研修事業(ウ)	B		B
		調査研究事業	B		B
		私の考えを語る会	A		A
		人権展	A		A
		人権・同和教育だより	A		A

#### ・社会教育における人権・同和教育の推進

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
社会教育課		第56回日本PTA全国研究大会かがわ讃岐路大会	A		A
		人権学習講座	B		B

### 4. 文化・スポーツの振興

#### ・芸術・文化活動の振興

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
社会教育課		市民美術館企画事業	B		B

	万葉企画事業	C	行事が季節的に集中していること，利用団体に偏りがちであること等から万葉会館の有効利用についての施策が必要である。	C
	2008まなとピアフェスティバル	A		A
	坂出市文化協会育成事業	B		B
	坂出市民大学講座	B		B

【教育評価委員会の意見】芸術・文化活動の振興のため，一例として市民ホールの規模に合った音楽行事を実施する等，既存施設を有効に活用した自主的企画事業を実施してみてはどうか。

・文化財を生かしたまちづくり

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
社会教育課		文化財保護事業	C		C
		郷土に伝わる芸能等の保存伝承発表事業	A		A
		郷土資料館企画展	B		B
		加茂地区埋蔵文化財発掘調査事業	B		B
		坂出市内遺跡発掘調査事業	B		B

・スポーツの振興

総合自己評価 B

教育評価委員会評価 B

所管課	施策番号	事業名	事業評価	教育評価委員会での特記事項	外部評価
体育課		少年野球大会(スポーツ少年団)	B		B
		スポーツ少年団カーニバル	B		B
		中学生野球大会	B		B
		中学校駅伝	C	現場の意見を聞き，存続も含めて開催方法を検討すべきである。	C
		市内三高校野球定期戦	B		B
		婦人バレーボール大会	B		B
		2008こんぴら健脚大会	B		B
		ふるさとウォーク	B		B
		一般高校駅伝	C	現場の意見を聞き，存続も含めて開催方法を検討すべきである。	C
		坂出マラソン大会	B		B
		ソフトバレーボール大会	B		B
		体力づくり壮年ソフトボール大会	B		B
		シニアペタンク大会	A		A
		市民ゲートボール大会	B		B
		ほがらかキャンプ	B		B
		ファミリースポーツ	B		B
		親子・一般カヌー教室	B		B



	サンライズカヌー教室	A		A
	府中湖カヌーツーリング大会	B		B
	体育指導委員研修	B		B
	坂出市体育協会	A		A
	坂出市体育指導委員会	A		A
	坂出市スポーツ少年団	A		A
	第19回坂出市瀬戸大橋駅伝競走大会	A		A
	瀬戸大橋開通20周年記念第6回瀬戸大橋のまち・坂出「讃岐うどんツルツルツデーウォーク」	B		B
	第6回水無月カップin坂出ドッジボール大会	A		A
	2008瀬戸大橋カップTBG大会	A		A
	2008日韓バドミントン競技坂出大会	A		A
	北京五輪香川合宿フィンランドボートチーム・カヌーチーム（府中湖特設競技場・カヌー競技場）	A		A
	第17回西日本実年ソフトボール大会	B		B
	全日本卓球選手権大会(マスターズの部)	B		B
	2009カヌースプリント海外派遣選手選考会	A		A
	学校開放事業	A		A
	プール開放事業	A		A

【教育評価委員会の意見】来年度に向けての改善点として、各行事については第何回という表記をしておくことと、開催時期の順番で行事を掲載することをお願いしたい。また各行事の開催情報はホームページ等を活用し、積極的なPRが必要である。

## 各事業の評価結果集計

評価	自己評価 事業数	外部評価 事業数
A	43	43
B	70	71
C	8	7
D	0	0
-	2	2
合計	123	123

社会教育関係施設及び図書館の耐震化事業については、坂出市公共施設耐震化計画に基づき実施する予定であり、平成20年度においては評価対象外とした。